

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号: 0262-2203, サービス名称: s-flow, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2024/1/17
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	株式会社コデックス
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	2003年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		21年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	東京都港区南青山2-26-11 青山グラフィティ 3F (〒107-0062)
	事業所数(国内、国外)		国内: 1カ所		
	主な事業所の所在地		東京都		
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	貿易・販売管理システムの構築・保守運用
- 人材					
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須	原本 陽太
			代表者写真	選択	
			代表者年齢		54歳
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		東京大学工学部卒、伊藤忠商事(株)
7	役員	役員数	役員氏名及び役職名	選択	2名
		役員氏名及び役職名			原本 陽太(代表取締役)、高橋 章(取締役)
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	10名
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	181,131,613円(2022年12月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	30,000,000円(2022年12月期)
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	有利子負債なし
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	有利子負債なし

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号: 0262-2203, サービス名称: s-flow, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
15	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	未上場
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択	④いずれでもない
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択	未実施
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	伊藤忠商事株式会社、伊藤忠エネクス株式会社
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	
24	書類類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等書類の名称	必須○	情報セキュリティ管理規程
			上記の書類の経営陣による承認の有無		有り
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名	選択	
			上記の書類の経営陣による承認の有無		
26		ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名	必須	有り: 苦情・相談処理に関する対応規程
			上記の書類の経営陣による承認の有無		有り
- サービス基本特性					
27		サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	s-flow
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2021/3/31
			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		有り: 2021年11月25日 2022年2月10日 2022年7月25日 2022年8月9日 2023年6月23日

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号: 0262-2203, サービス名称: s-flow, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
29	サービス内容	サービスの基本タイプ	必須	アプリケーションサービス
30		サービスの内容・範囲	必須	s-flowは、受発注業務を漏れなくスマートに管理できる中小・中堅企業向け販売管理システムです。販売・仕入・在庫・入金管理と会計連携機能を標準装備しており、リモートワークや多拠点での販売業務の効率化を実現します。初期費用・月額基本利用料のないシンプルな料金体系なので低コストでの導入が可能です。 主要な国内会計パッケージへの仕訳連携、ネットショップアプリBASE(ベース)とのAPI連携、統合型クラウド会計ソフトfreee会計とのAPI連携、アカウントアグリゲーションサービス「MoneyLook」とのAPI連携
31		サービスのカスタマイズ範囲	必須	無し
32	サービスの 変更・ 終了	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	必須○	6か月前 電子メール、製品ホームページ
33		サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	無し 無し 無し
34		サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	必須○	有り: メール、電話サポート、チャットサポート 電話サポート、チャットサポートの受付時間は平日 9:30~18:30 (祝日、年末年始は除く)
35		課金方法	必須	無し アプリケーションの月額利用料を毎月課金します。※初回・解約月の月額利用料は日割計算されます。 オプション) ・ファイル添付/画像登録の追加ストレージ(月額 1,200 円/10GB) ・電話サポート(月額5,000円) ・PowerBI連携(月額3,000円) ・スマホ検品(月額2,000円/1デバイス)
36	サービス料金	料金体系	必須	無し オプションサービス) あんしん導入パック: 72,000円 標準ライセンス: 2,800円/1ユーザ(税抜) 閲覧ライセンス: 1,400円/1ユーザ(税抜)
37		解約時ペナルティ	必須	無し
38		利用者からの解約事前受付期限	必須	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号: 0262-2203, サービス名称: s-flow, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	期間: 2023年1月1日 ~ 2023年12月31日 稼働率: 100.00%
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン2、対策参照値99%以上
		サービス停止の事故歴		無し
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 20000-1など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	
43	サービス品質 個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	当社事業(システムの企画・提案・設計・開発・保守・コンサルティング、パッケージソフトウェア開発・販売)における業務遂行の為に、お客様から直接書面に記載された個人情報を取得し取り扱う
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	1日6回
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	42世代
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	
48	SLA (サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	<p>「サービス利用規約」に記載しております。</p> <p>本サービスの月間稼働率が、以下に定める基準を下回った場合に、以下の金額をお客様の翌月利用料金から減額します。月間稼働率は以下の式で算出するものとします。</p> $\text{月間稼働率} = (\text{月間稼働時間} - \text{月間停止時間}) \div \text{月間稼働総時間} \times 100$ <p>①月間稼働率が99.9%に満たなかった場合、お客様の当月分の月額利用料金の10%に相当する金額</p> <p>②月間稼働率が95.0%に満たなかった場合、お客様の当月分の月額利用料金の50%に相当する金額</p> <p>2. 第5条3項及び第4項による本サービスの停止は、第1項の月間停止時間に含めないものとします。</p>

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号: 0262-2203, サービス名称: s-flow, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
49	サービス 利用量	利用者数	申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数(同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	
50		代理店数	申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択	
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	主要ソフトウェアの名称	必須	s-flow
			主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	s-flowは、受発注業務を漏れなくスマートに管理できる中小・中堅企業向け販売管理システムです。販売・仕入・在庫・入金管理と会計連携機能を標準装備しており、リモートワークや多拠点での販売業務の効率化を実現します。初期費用・月額基本利用料のないシンプルな料金体系なので低コストでの導入が可能です。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	株式会社コデックス
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	
			標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	アプリケーション) 随時 プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器) サーバ処理にAWS Lambdaを採用しており、AWS側にて管理
			障害時の利用者への通知時間		障害検知後、即通知
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	アプリケーション) 有り プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器) サーバ処理にAWS Lambdaを採用しており、AWS側にて管理
56		時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	サーバ処理にAWS Lambdaを採用しており、AWS側にて管理
57		ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	サーバ処理にAWS Lambdaを採用しており、AWS側にて管理
58		記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	ログ取得: 利用状況、例外処理、セキュリティ監視関連についてあり 保存期間: 利用状況は2年。例外処理とセキュリティ監視関連は3年。
59		セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	サーバ処理にAWS Lambdaを採用しており、AWS側にて管理
- ネットワーク					
60	回線	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	データセンターと利用者とのユーザ接続回線は、責任を負わない
61		推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	有り: 光回線推奨

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号: 0262-2203, サービス名称: s-flow, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
62	推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	ディスプレイ解像度1,366×768以上の端末を推奨
		利用するブラウザの種類	必須	Google Chrome、Microsoft Edge 79以降
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	必須○	サーバ処理にAWS Lambdaを採用しており、AWS側にて管理
64		不正侵入検知	必須	無し
65		ネットワーク監視	選択	監視対象外(責任対象外のインターネット回線のため)
66		ID・パスワードの運用管理	必須○	有り
67		ユーザ認証	必須○	テナントID、ユーザID(メールアドレス)、パスワードによる認証
68		管理者認証	必須○	管理者権限運用管理手順有り
69		なりすまし対策(事業者サイド)	必須	無し
70		その他セキュリティ対策	選択	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	必須	データセンター専用建物
72		所在地	必須	日本・関東地域
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須
	免震構造や制震構造の有無		Amazon Web Services(AWS)を利用しており、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。	
74	非常用電源設備	無停電電源	必須	UPS有り: 電力供給時間については、Amazon Web Services(AWS)を利用しており、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
75		給電ルート	必須	有り
76		非常用電源	必須	非常用電源有り: 連続稼働時間の数値は、Amazon Web Services(AWS)を利用しており、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	自動消火設備:有(ガス系消火設備)
78		火災感知・報知システム	必須	火災検知システム有り

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号: 0262-2203, サービス名称: s-flow, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	Amazon Web Services(AWS)を利用しており、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
80		誘導雷対策	必須	Amazon Web Services(AWS)を利用しており、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
81	空調設備	十分な空調設備	選択	Amazon Web Services(AWS)を利用しており、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	有り: 保存期間については、Amazon Web Services(AWS)を利用しており、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
		監視カメラの有無と、カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		有り: 24時間稼働、監視範囲、保存期間については、Amazon Web Services(AWS)を利用しており、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
		個人認証システムの有無		有り: 二要素での認証を実施。
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	Amazon Web Services(AWS)を利用しており、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
		保管管理手順書の有無		Amazon Web Services(AWS)を利用しており、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	Amazon Web Services(AWS)を利用しており、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	当社の連絡先: 電話/FAX: 03-5411-0813 / 03-5411-0814 Web: https://s-flow.net/ 電子メール: sales@s-flow.net
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	平日 9:30~18:30 (祝日、年末年始は除く)
		メンテナンス実施時間		担当者による対応の為、無し
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)	選択	
		放棄率の実績値(単位:%)		
		応答時間遵守率の実績値(単位:%)		
		基準時間完了率の実績値(単位:%)		
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	操作方法、障害・不具合対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電子メール、チャット、電話

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号: 0262-2203, サービス名称: s-flow, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	災害やサーバー障害が発生した場合に、物理的に分離された別のサーバー上で処理が実行されるよう設計しています。また、アクセス数や処理が集中した場合にも、サーバー上のサービスを自動起動(オートスケーリング)することで負荷分散を実現し、高可用性を実現しています。
90		事故発生時の責任と補償範囲	必須	有り: s-flowサービス利用規約
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)
		告知方法		原則1週間前、ただし緊急時はこの限りではない。
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		電子メール、Webサイト
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有り
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。